

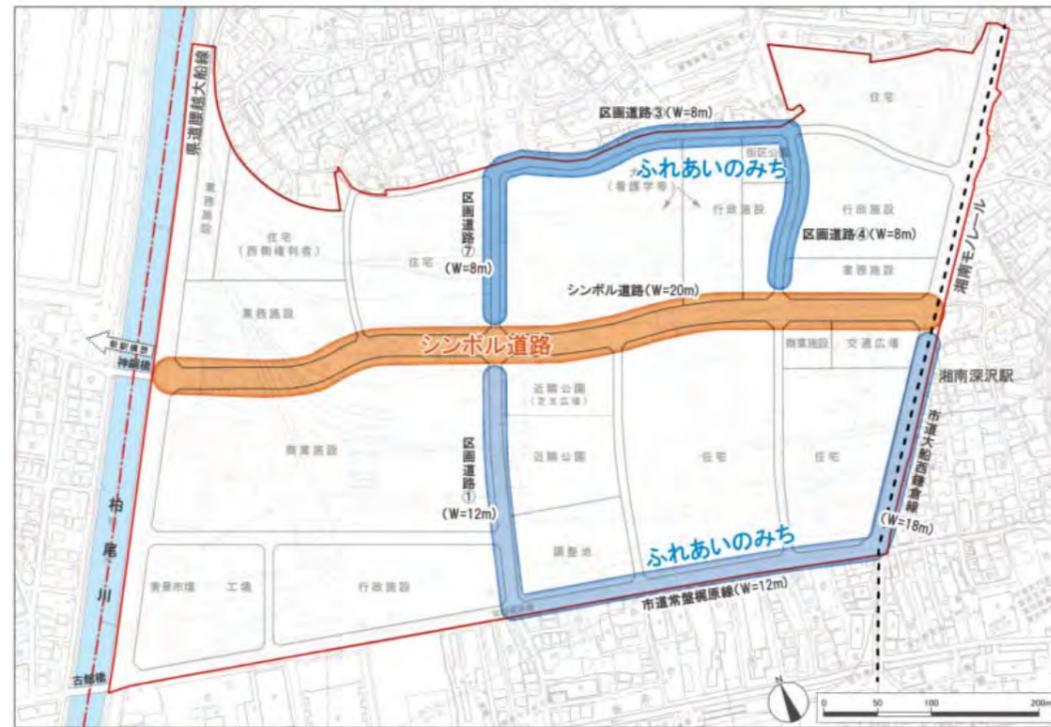
#### 4. 都市基盤施設の計画指針

前述したまちづくりの基本方針を踏まえ、道路、広場等の都市基盤施設の計画指針を策定する。

##### 【対象項目】

##### ●道路

- シンボル道路
- ふれあいのみち
- ・区画道路①
- ・市道常盤梶原線
- ・市道大船西鎌倉線
- ・区画道路④・⑦
- ・区画道路③



##### ●広場・公園

- まちかど広場 A～H
- 交通広場
- 近隣公園
- 街区公園・緑地



(1)シンボル道路沿いの整備イメージ

【基本方針】

- ・シンボル道路沿いは地区のシンボルとして、美しい景観と賑わいの創出に配慮したまち並み形成を図ります。
- ・ゆとりある歩行空間と緑化空間、人々が集い憩うスペースを確保し、賑わいの演出、快適性の向上を図り、魅力的な空間形成を図ります。
- ・シンボル道路沿いのオープンスペースは、オープンカフェやフリーマーケット等で活用できるような十分なスペースを確保します。
- ・近隣公園のシンボル道路に面したエリアは深沢夏祭り等のイベント等、シンボル道路と一体的に活用できるような開放的な空間とします。
- ・バリアフリー化によって誰もが快適安心に歩けるようになります。

【シンボル道路沿いの整備における課題】

シンボル道路沿いの整備にあたって、重要視されている下記の3つをどのように実現するかが課題となります。

《緑量の確保》

- ・線状の公園のような緑量をどのように確保するか。

《賑わいの創出》

- ・メインストリートとして活性化するにはどのような創意工夫が必要なのか。

《快適な歩行空間の創出》

- ・誰もが快適に楽しく歩ける空間をどのように創出するのか。

【整備方針】

上記の3つの重要項目を同時に実現する場合の考え方は下記の通りです。

①緑量の確保の考え方

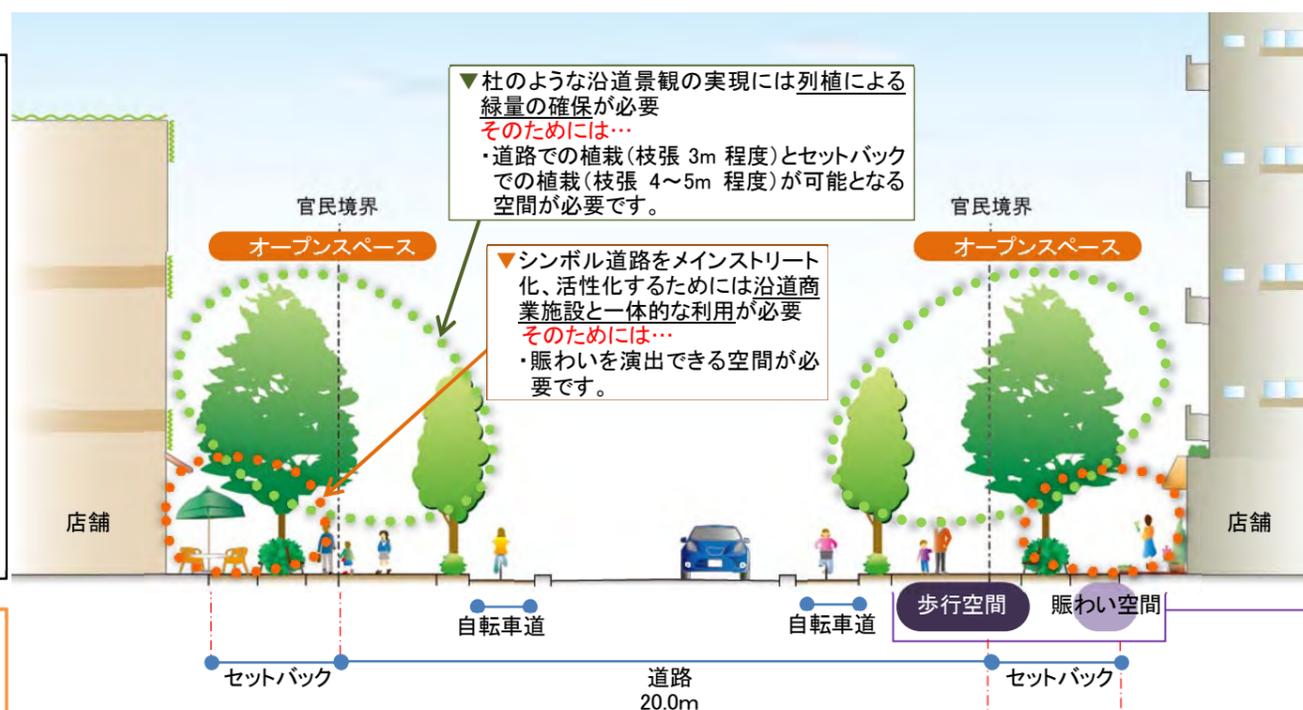
- ・建築物のセットバックによって歩道と一体的なオープンスペースを創出します。
- ・道路での高木植栽とセットバックでの高木植栽によって緑量を確保します。
- ・セットバック部の緑化は事業者の創意工夫によって、個性的で美しい沿道景観を演出します。

②賑わい創出の考え方

- ・店舗、飲食店など賑わい施設や文化的施設の配置に努め、オープンスペースと一体的な活用により、賑わいのあるまち並みを演出します。
- ・地域のお祭りなど、ハレの日のイベントにも対応できるような空間づくりを行います。

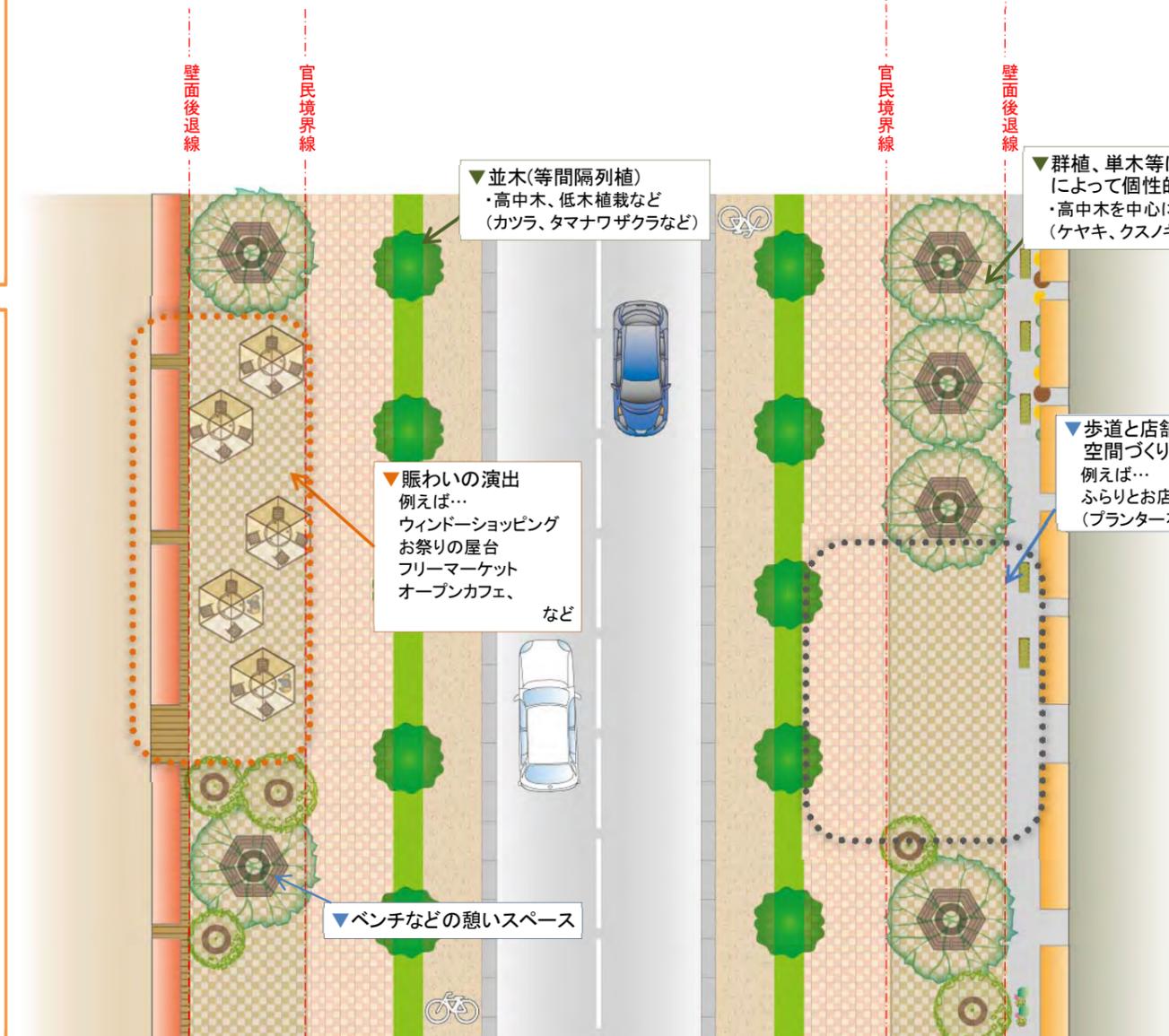
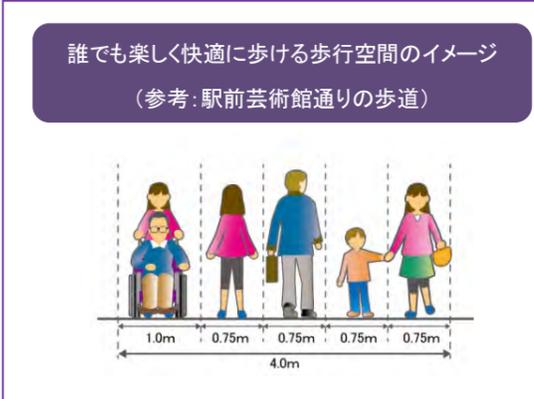
③快適な歩行空間づくりの考え方

- ・道路（歩道）とセットバック部が一体的に利用できるように舗装の統一、バリアフリー化等に対応します。
- ・ウィンドウショッピングや散歩、ジョギングなど誰もが快適に歩行できる空間を確保します。



▼杜のような沿道景観の実現には列植による緑量の確保が必要  
そのためには…  
・道路での植栽(枝張 3m 程度)とセットバックでの植栽(枝張 4~5m 程度)が可能となる空間が必要です。

▼シンボル道路をメインストリート化、活性化するためには沿道商業施設と一体的な利用が必要  
そのためには…  
・賑わいを演出できる空間が必要です。



▼並木(等間隔列植)  
・高中木、低木植栽など(カツラ、タマナワザクラなど)

▼群植、単木等によるリズムカルな緑化によって個性的な街並みを演出  
・高中木を中心に植栽(ケヤキ、クスノキ、ハナミズキなど)

▼賑わいの演出  
例えば…  
ウィンドウショッピング  
お祭りの屋台  
フリーマーケット  
オープンカフェ、  
など

▼歩道と店舗先は一体的な空間づくりと利用を誘導  
例えば…  
ふらりとお店に入りたくなる演出  
(プランター花壇、イルミネーション等)



(2)ふれあいのみち沿いの整備イメージ

**【基本方針】**

- ・ 地区内の住宅と駅、商業施設、行政施設、地区と周辺地域を結ぶ、安全・安心で快適な歩行空間『ふれあいのみち』の形成を図ります。
- ・ 地区周辺から地区内へのアクセスルートとして、通過交通の流入抑制等の交通安全対策により、安全・安心な歩行空間を確保します。
- ・ 『ふれあいのみち』には、地域で自主的に緑化や管理ができる緑を確保し、身近に緑を感じ、緑に親しむことのできるコミュニティ空間を創出します。

**【ふれあいのみち沿いの整備における課題】**

ふれあいのみち沿いの整備にあたっては、下記の2つの空間をどのように創出し、連続させるかが課題となります。

**《安全・安心な歩行空間づくり》**

- ・ 安全・安心な歩行空間をどのように創出し連続させるか。

**《緑空間の創出》**

- ・ 連続した緑化空間をどのように創出させるか。

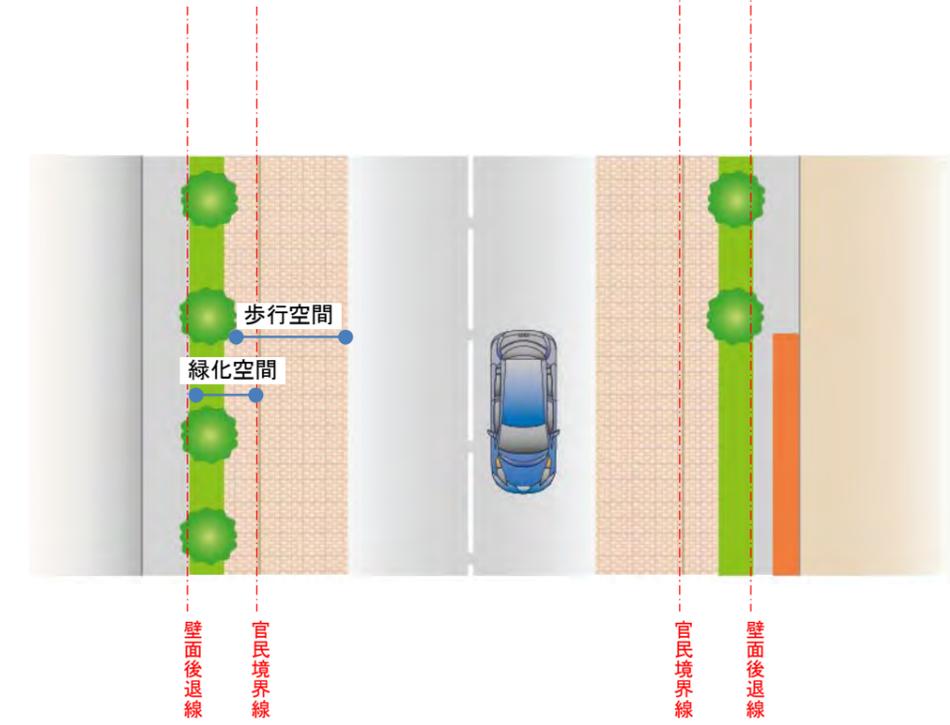
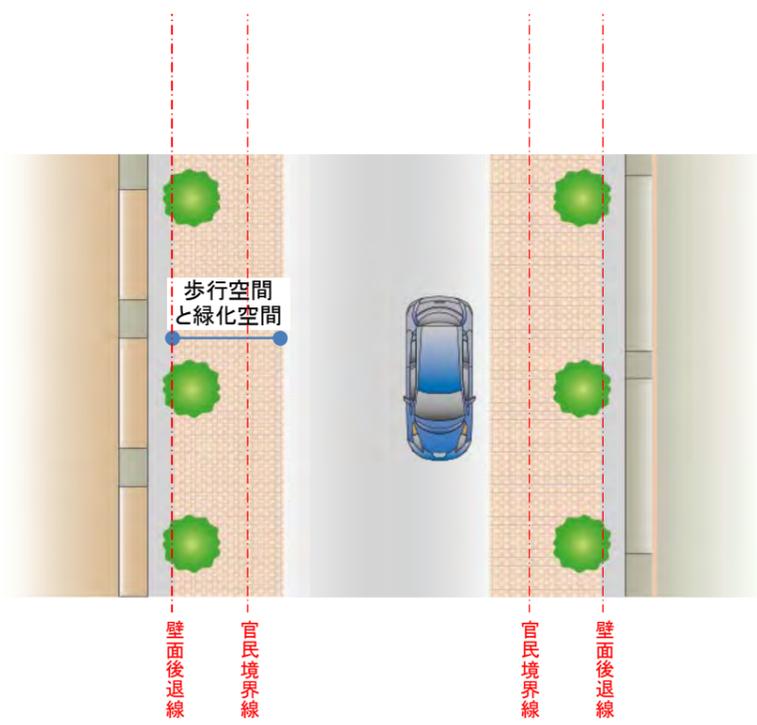
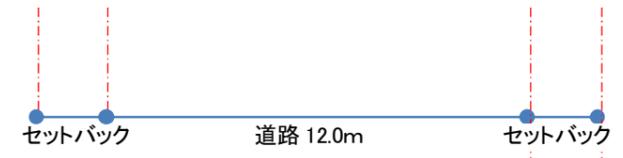
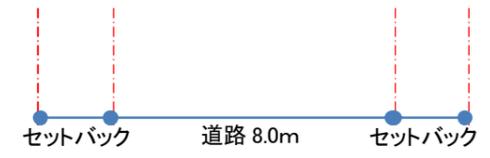
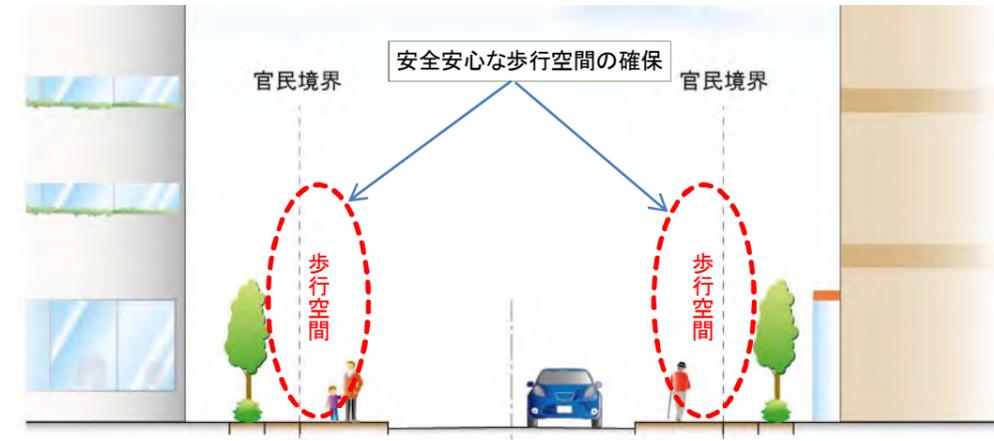
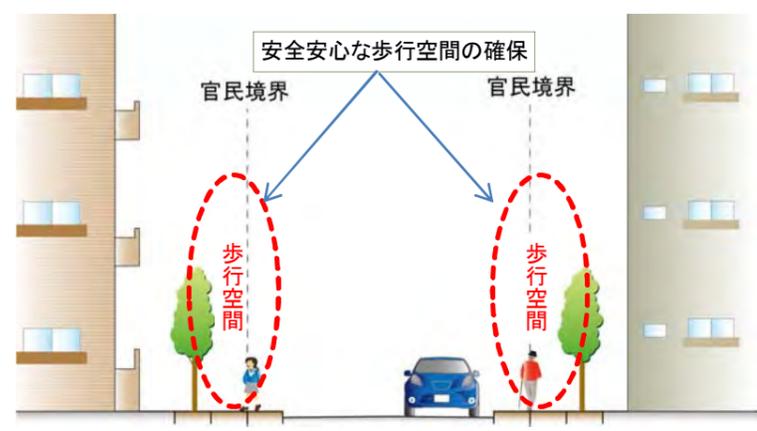
**【整備方針】**

**①安全・安心な歩行空間づくりの考え方**

- ・ 歩道と建築物のセットバックで生み出されるオープンスペースを一体的に活用して、来街者や地区内の方が安全安心に歩ける連続した歩行空間を確保します。
- ・ 歩道とセットバック部が一体的な歩行空間となるよう、舗装等の配慮を行います。
- ・ 歩行空間の動線の連続性に配慮して、歩行者動線には通行の支障となる構造物を設置しないように配慮します。

**②緑空間の創出の考え方**

- ・ 歩道と建築物のセットバックで生み出されるオープンスペースに連続的に植栽し、連続した緑空間を創出します。舗装や植栽等について、歩道とセットバック部が一体的な空間となるように配慮します。
- ・ 建築物は外構の緑化に加え、可能な限り屋上や壁面の緑化に努めるなど、緑の連続性に配慮します。
- ・ 快適な緑・歩行空間とするため、緑陰によるヒートアイランド緩和に配慮した樹種を選定します。



【KEY PLAN】



## (4)交通広場・公園の整備イメージ

## ○交通広場

- ・湘南モノレール湘南深沢駅前の交通広場は、地区の正面玄関として、**地区を印象づける特徴ある景観形成**を図ります。(地域の歴史を踏まえたオブジェや舗装など)
- ・隣接する建築物と連携した豊かな緑化空間、ゆとりある歩行者空間を確保するとともに、舗装材やベンチ等のデザインの工夫により、深沢地区の地域性を感じることができ、個性豊かな景観形成を図ります。
- ・誰もが安全で快適に利用できるよう、バリアフリー化の推進、情報提供の充実等を図ります。

## ○近隣公園

## [芝生広場・多目的広場]

- ・緑豊かな緑環境を象徴する拠点として、既存樹木や在来種の植樹等により豊かな緑量を確保します。
- ・ゆったりとした時間を過ごすことが利用者の目的となるような、心地よいオープンスペースを作ります。
- ・また、オープンスペースは災害時の一時避難所として機能します。
- ・ふかさわ夏祭りなど**地域のお祭りやイベントができるような芝生広場**を設け、地域住民だけでなく来街者も楽しむことのできる空間とします。
- ・シンボル道路や商業施設に面したエリアはオープンな空間とし、商業施設等と一体となった賑わいを創出します。

## [調整池]

- ・隣接する近隣公園と一体的な景観を創出します。

## ○街区公園・緑地

- ・市指定文化財「宝篋印塔」周辺は**歴史的な伝承を図るため街区公園として整備**します。
- ・地域住民や来街者、子供からお年寄りまで様々な目的、世代が利用できる公園とします。
- ・大街区を中心にポケットパーク的な緑地空間、憩いの場を創出し、みどりのこみちとしてネットワークさせることにより、人々の賑わい、回遊性を創出します。



【KEY PLAN】